

5 年「お客さま」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう 1 文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「在り方」「見方・考え方」「意味」「なぜ大切なのか」「よさ」「態度・意欲」を考えさせる
- つなぎ発問②**…展開後段で出された主題発問への考えを生活とつなげるために、「もしも、皆さんの身の回りで〇〇なことが起こっても、これらの考え方をもっていると、どんなことができると思いますか」など、振り返りの 4 観点に関わる話をして、終末の振り返りの手がかりにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

「皆さんの考え方や行動は、もっとよくなります。そのために振り返りましょう」

まず、今日の学習から、学んだこと・分かったことを書きましょう

そして、次のことについて書きましょう

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※この中から、先生がいくつか指定して書かせる、または、子どもが自分で選んで書かせます

※振り返りの 4 観点を取り入れて、低中高学年別、また ABCD 別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	トラブルを避けるためにきまりはある
導入	今日は、第 30 回「お客さま」です。「22 のとびら」12 番「法やきまりの意義を知り、大切にする」です。「道徳みちあんない」では、〇△? のどれを付けていますか
展開前段 つなぎ発問①	○子どもを肩車した人は、どんなことを思っていたのでしょうか ○子どもを肩車した人の後ろの人は、どんなことを思っていたのでしょうか ○前にいるたくさんの人が子どもを肩車したら、会場みんなは、最悪どうなるのでしょうか ○公園で、「ボール遊び禁止」となっているのは、どうしてでしょう ○交通ルールがあるのは、どうしてでしょう
展開後段	きまりは、なぜ必要なのでしょう
つなぎ発問②	だから、きまりがあると、少し窮屈なのですね

	・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか ・①のことで、もう、きまりを守っていることはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、きまりを守っていきたいことは、どんなことですか ・①のことをもとに、みんなが一緒にきまりを守るとどうなるでしょう ・①のことをもとに、きまりが守られた社会は、どんなステキな社会なのでしょう では、振り返りを書きましょう
振り返り	

※「○△？」は、第1回「道徳が始まるよ」で「道徳みちあんない」に書き込んだものです